

授業科目 周産母子看護学特論Ⅱ	科目概要・形式 2単位 30時間 必修	配当年次 2年 前期
科目責任者	佐藤 愛	
担当者	佐藤 愛、平岡 友良	
1. 科目のねらい・目標 周産期にある母親や家族の心理・社会的側面について理解を深め、心理・精神的発達課題やメンタル・ヘルスケアを考察する。さらに、心理的危機状況にある周産母子家族および産褥精神疾患について治療と援助について学び、CNSの役割について考察する。		
2. 授業計画・内容 【佐藤 愛】（10コマ） 周産期における女性の心理・社会的変化や危機的な状況における心理的な変化の特性と、その心理的な過程を支援するケアのあり方について国内外の文献購読によって、関連理論や最近の研究動向をもとに理解を深める。 1) 周産期における母性性の形成発達過程とその援助について（2コマ） 2) 周産期における女性の心理的危機状況とその援助について（2コマ） 3) 母子関係の形成発達過程とその援助について（2コマ） 4) 医療介入のあった分娩体験や児（胎児・新生児）の喪失体験あるいは障害児の出産をした母親の心理過程と援助について（4コマ） 【平岡 友良】（4コマ） 1) 妊娠期の精神障害の診断と分類 2) 産褥期の精神障害の診断と分類 3) 妊産褥婦に対する病院モデルとしたメンタルヘルス・ケア 4) 妊産褥婦に対する地域モデルとしたメンタルヘルス・ケア		
3. 教科書、参考書 教科書：Reva Rubin：母性論 母性の主観的体験，医学書院，1997．ISBN：426034899 X C3047 P3090E その他、講義の中で紹介する。		
4. 成績評価方法 参加度、レポートにより評価する。		
5. 受講要件 なし		
6. 社会人学生に対する配慮 夜間開講に対応可能。		
7. その他		